2024年10月2日(水)～2024年10月4日(金)、幕張メッセにて、第10回 福利厚生 EXPO 秋が開催されました。福利厚生サービスが一堂に出展される当EXPOに、企業年金制度の普及推進の一環として、厚生労働省と企業年金連合会が合同でブースを出展しました。そこにiDeCo+相談担当として、DCプランナー（１級で社会保険労務士）の方が参加協力されていましたので、当日の様子をレポートして頂きました。

【10月2日(水)　１日目】

開催初日ということもあり、会場はそこまで混雑していませんでした。企業年金制度とiDeCo＋のパンフレットなどを配付していたところ、企業年金やiDeCo、iDeCo＋にご興味のある方がいらして、２社、商談席で説明させていただきました。

A社

・現在退職給付制度はなく、どのような制度があるかを知りたい

・従業員70名程度

・すでにiDeCoに加入している従業員もいるため、iDeCo＋に興味あり

・企業型DCとiDeCo＋について検討したいとのことで、それぞれの制度の概要とその違いについてご説明

Ｂ社

・従業員100名超

・経営層は退職給付制度を導入する予定がないが、人事部であるご自身は何かしらの制度の導入の必要性を感じている

・iDeCo＋を導入するメリットと、経営層へのアプローチ法についてご説明

・会社に戻って、経営層にiDeCo＋の導入を打診されてみるとのこと

このほか、

・（300名超の企業）今後企業型DCを導入した場合、現在iDeCoに加入している従業員の資産はどうなるか

・（DB導入企業）他制度掛金相当額反映後のiDeCo加入者への影響や、担当者として必要な周知事項について

など、iDeCo＋に関する説明に限らず、企業年金制度全般について、企業の担当の方からご質問をお受けしました。

パンフレットをお持ち帰りいただいた方も大勢いらっしゃったとのことで、まずはiDeCo+制度を知ってもらうという点で、一歩前進のお手伝いができたのではないかと思っております。

【10月3日(木)　２日目】

4社、商談席で説明させていただきました。いずれの企業もiDeCo+の対象企業になり得ると感じました。以下、相談概要をお示します。

C社

・従業員数は50名超で退職給付制度対象者は35名位、退職給付制度は退職一時金と中退共を実施

・退職一時金の方を外部積立したいと思っているが金融機関から断られてる（人数問題）

・親会社の連結対象、モデル退職金は2000万円位でやや多い

・iDeCo加入者が5名いる

・従業員に安心感を与えられ、長く勤めたいと思える制度を検討したい

・選択肢は企業型DCか、iDeCo+か、ということで両方説明　⇒今後検討

D社

・従業員25名の派遣会社（登録型派遣社員は除く）

・ご本人もiDeCoに加入済み

・退職給付制度か、それに準ずるものを検討したい

・iDeCo+か、企業型DCか可能性あり（プラス中退共）、iDeCo+を中心に各制度ご説明

・前向きに検討される見込み

E社

・従業員20名

・退職給付制度は中退共を実施

・iDeCo加入者がいる

・若い人向けに福利厚生制度を検討

・iDeCo+を導入し、はじめ一律事業主掛金で、そのうち掛金設定を変えるのも良いかなと検討予定

F社

・企業へ人事労務制度を提案するコンサルティング会社

・iDeCo+制度に感動、個人が自由に商品選択できるiDeCoに会社が掛金を上乗せできるため（ご本人は前職で企業型DCに加入し、いろいろ不満もあった様子）

・iDeCo+を啓蒙されるのではないかと推測

【10月4日(金)　３日目（最終日）】

1社、商談席で説明させていただきました。iDeCo+に加入する見込みが大きいと感じました。

G社

・はじめ制度内容全般については企業年金連合会担当者の方で説明、iDeCo+の加入手続きの説明でバトンタッチされた

・従業員20名

・2,3人iDeCoに加入済み

・求人のため、福利厚生で税制優遇のある制度を検討したいとのこと

・iDeCo+を事業主掛金一律でスタートする見込み

実際にEXPOにて相談を実施してみて、iDeCo+制度の説明は確かに中小企業には受入れ易いと感じました。今後とも、このような機会があれば出来るだけ協力させていただき、iDeCo+を普及していきたいと思います。